

交換留学対象校一覧

以下の表を参考に、対象学科を確認すること。

“B”:派遣時に学部3年生 “M”:派遣時に博士前期(修士)課程1年生

※“B”が記載されている協定校へ学部4年次に留学を希望する者、あるいは“M”が記載されている協定校へ修士2年次に留学を希望する者は、卒業・修了制作時期と留学時期が重なることについて、研究室および担当教員に相談し、許可を得ることができれば応募可能。なお、油画および環境デザインに所属している学生は、学部3年次または修士1年次以外での派遣を認めない。

募集	協定校名	日本画	油画	版画	彫刻	工芸	グラフィック	プロダクト	テキスタイル	環境	情報 (メディア・情テ)	芸術*1	統合	演劇舞踊 (演舞・劇美)	推薦人数 (合計33名)	留学期間 (1学期)*2
A選考	ベルリン芸術大学 (ドイツ)							BM							1名	2022年10月 ～2023年2月
										BM*3					1名	
												BM			1名	
	オスロ国立芸術大学 (ノルウェー)								BM						1名	2022年8月 ～2022年12月
	ヨーテボリ大学 (スウェーデン)							BM*4							1名	2022年9月 ～2023年1月
	チェルシー・カレッジ・オブ・アーツ (イギリス)								B						1名	2022年9月 ～2022年12月
	グラスゴー美術学校 (イギリス)								B*5						1名	2022年9月 ～2023年1月
	ロードアイランドスクール・オブ・デザイン (アメリカ)							B*6							1名	2022年10月 ～2022年12月
シンシナティ大学 (アメリカ)								B						1名	2022年8月 ～2022年12月	
B選考	シラバコン大学 (タイ)	BM	BM	BM	BM										1名	2022年8月 ～2022年12月
	弘益大学校 (韓国)	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM		2名	2022年8月 ～2022年12月
	ソウル大学校 (韓国)	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM		1名	2022年9月 ～2022年12月
	中央美術学院 *7 (中国)	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM		2名	2022年9月 ～2023年1月
	国立台北芸術大学 *8 (台湾)	BM	BM	BM	BM			BM			BM	BM	BM	BM	1名	2022年9月 ～2023年1月
	国立台湾芸術大学 (台湾)	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	1名	2022年9月 ～2023年1月
	ヘリット・リットフェルト・アカデミー (オランダ)	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B		1名	2022年9月 ～2022年12月
	ベルリン芸術大学 (ドイツ)	BM	BM	BM	BM										2名	2022年10月 ～2023年2月
	国立高等装飾美術学校 (フランス)	BM	BM	BM	BM			BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	1名	2022年10月 ～2023年1月
	アアルト大学 *9 (フィンランド)	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	2名	2022年8月 ～2022年12月
	オスロ国立芸術大学 (ノルウェー)								BM		BM				1名	2022年8月 ～2022年12月
	ヨーテボリ大学 (スウェーデン)	B	B	B	B	B	B			B	B	B	B		1名	2022年9月 ～2023年1月
	ローザンヌ美術大学 (スイス)				B	B		B	B	B	B			B	2名	2022年9月 ～2023年1月
	ウィーン応用美術大学 (オーストリア)				BM	BM		BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	2名	2022年10月 ～2023年1月
	ロイヤル・カレッジ・オブ・アート (イギリス)	M	M	M	M	M	M	M	M	M		M			2名	2022年10月 ～2022年12月
シンシナティ大学 *11 (アメリカ)	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM		BM	BM	BM	BM	BM	1名	2022年8月 ～2022年12月	

- *1. 芸術学科の学生派遣については、作品制作を行っている学生が主な派遣対象となる。
- *2. 派遣時期については、変更となる可能性がある。
- *3. 建築専攻の学生のみ派遣対象とする。
- *4. 修士課程については、Child Culture Designプログラムのみ応募可とする。
- *5. 学部2年生も応募可とする(申請時に学部1年生)。
- *6. ①Graphic Design、②Illustration、③Film/Animation/Videoの3プログラムのみ応募可とする。
- *7. 派遣先学科は「建築、設計、実験芸術、版画、油画、壁画、彫刻」のいずれかであり、特に高い中国語能力が求められる。
- *8. Department of Theatrical Design and TechnologyおよびDepartment of Theatreに応募する場合は、特に高い中国語能力が求められる。
- *9. 派遣先学科に各種制限があるため、最新の募集要項(例年6-7月公開)を必ず確認すること。
- *10. 演劇舞踊デザイン学科の派遣対象は、劇場美術デザインコースの学生のみとする。
- *11. 現在先方大学と調整中のため、最新の募集要項(例年6-7月公開)を必ず確認すること。

2021年6月15日

アアルト大学 交換留学対象プログラム

交換留学対象校のアアルト大学について、2022年度後期の派遣先プログラムは以下の通りです。

学部

- Visual Communication Design (一部英語開講)
- Design

修士課程

- Art Education
- Collaborative and Industrial Design
- Fashion, Clothing and Textile Design
- New Media
- Visual Communication Design
- Visual Cultures, Curating and Contemporary Art

- 学部生が修士課程のプログラムに申請することはできません（多摩美術大学の修士課程へ進学することが決定している学部4年生は申請可能）。
- 応募先のプログラム内容や申請方法については、応募者本人がアアルト大学のホームページ等で確認してください。
- 応募者の所属学科・コースに関わらず、アアルト大学で学びたい分野のコースに応募できます。ただし、本学での専門分野以外のコースに応募する場合は、事前に所属学科長の許可を得る必要があります。
- 対象学科について質問がある場合には、国際交流センターまでお問い合わせください。

問い合わせ先：

国際交流センター Tel: 042-679-5605 / Fax: 042-676-2935 / email: intl-ex@tamabi.ac.jp

2021年6月15日

学生各位

多摩美術大学
国際交流センター

2022年度 交換留学生募集要項 (B選考)

1. 交換留学制度について

本学と学術交流協定を締結している海外協定校に派遣するため、以下の通り本学から推薦する学生を募集する。多摩美術大学での学内選考を通過した者は本学の推薦のもと、協定校に対し交換留学の応募をすることができる。応募書類を協定校に送付し、先方から正式に受入の内定を得た者が、交換留学生として派遣される（応募先の協定校での審査結果によっては、学内選考の結果に関わらず受入拒否となる場合があるのでよく注意すること）。交換留学生に選ばれた者は、本学へ授業料を納めれば、留学先での学費は全額免除される。

2. 交換留学対象校、本学対象学科・学年、推薦人数、留学期間、応募資格

別紙「2022年度 交換留学生募集 (B選考) 対象学科・学年・推薦人数、留学期間」を確認すること。

※2022年度A選考募集で合格した者は、今回の募集(B選考)に応募することはできない。

応募資格

- ① 対象学科・学年に所属する学生であること（原則として応募時点で学部2年生、または本学大学院に進学する意志のある学部4年生）。
- ② 学部4年次・修士2年次での留学を希望する学生については、所属学科・専攻・コースの研究室より事前に許可を得てから申請をすること。くわえて、交換留学開始までに卒業要件科目を全て取得していること（ただし、最終年度に開講されている科目で、交換留学中の単位認定対象となるものを除く）。交換留学直前までに同条件を満たせなかった場合、交換留学資格の取消、もしくは出発後に留年となる可能性がある。なお、絵画学科油画専攻および環境デザイン学科については、学部3年次または修士1年次以外での派遣を認めない（学部3年次または修士1年次での応募を認めない）。
- ③ 美術研究科修士課程での留学を希望する美術学部4年生については、本学の修士課程入学試験に合格し、進学すること。また、交換留学期間が終了した後、本学で修士課程を修了する意志があること。
- ④ 前年度の成績が、GPA2.30以上（3.00点満点）であること。GPAの計算方法については下記を参照すること。ただし、前年度休学の場合、休学前の年度による学内成績を用いることとする。

$S+A$ の単位数 $\times 3.0 + B$ の単位数 $\times 2.0 + C$ の単位数 $\times 1.0 + D$ の未修単位数 $\times 0.0$

前年度の総登録単位数

※S および A=3.0、B=2.0、C=1.0、D=0.0

※進級要件に関係しない科目（教職科目・学芸員科目）は除く。

※ソウル大学校に応募する者は、入学年度からの累計成績において、GPA2.5以上（大学院は3.0）を取得していることが強く推奨される。2021年度の学内成績が決定した際に、それまでのGPAが2.5（大学院は3.0）に満たない場合については学内推薦資格を失う可能性がある。

- ⑤ 留学先で授業を受けるのに支障のない程度の語学力（英語もしくはその他の現地語）があること、または派遣時まで向上させる意思があり、能力的にもそれが見込めること。**志望する学校で使用される言語に関わらず、TOEIC/TOEFL iBT/IELTS Academic のいずれかのスコアを提出する必要がある。**英語力の目安については、最低でもTOEIC 520点/TOEFL iBT 53点/IELTS Academic 4.0以上を学内選考への応募時点で取得していることが望ましい。なお、応募書類提出締切日までにスコアを提出できない学生は、応募締切1か月前までに国際交流センターに報告すること。

※ロイヤル・カレッジ・オブ・アートに応募する者は、**TOEFL iBT 61点以上またはIELTS Academic 5.0以上**を同大学へ書類を送付する時点までに取得することが応募条件となっているので注意すること（他の英語試験での代替は認められない）。

※ヘリット・リートフェルト・アカデミーに応募する者は、IELTS Academic 6.0以上（かつSpeakingセクションで6.0以上）を同大学へ書類を送付する時点までに取得することが応募条件となっているので注意すること（他の英語試験での代替は認められない）。

※国立台北芸術大学のDepartment of Theatrical Design and Technology および Department of Theatre に応募する者は、特に高い中国語能力が求められる。

※中央美術学院に応募する者は、特に高い中国語能力が求められる。

※ソウル大学校に応募する者は、**TOEFL iBT 88点以上、IELTS Academic 6.0点以上、TEPS 560点以上、またはKOREAN TOPIK Level 5以上**を同大学へ書類を送付する時点までに取得することが応募条件となっているので注意すること。

※シンシナティ大学に応募する者は、**TOEFL iBT 66点以上（+各セクションで15点以上）、IELTS Academic 6.0点以上（+各セクションで5.5点以上）、またはDuoLingoで95点以上**を取得することが応募条件になっている（他の英語試験での代替は認められない）。上記スコアに足りない点数で学内推薦を得た者でも、先方大学に応募するまでに規定のスコアを得ることが出来なかった場合は、学内推薦資格を失うので注意すること。（7月13日追記）

- ⑥ 心身ともに留学生活に適応できる健康状態であること。留学生活に適応できないと大学から判断された学生は、派遣交換留学が取り消される。
- ⑦ 渡航費および滞在費等を自己負担できること。申請する学校によっては、渡航前に一定の留学費用を現金で用意する必要がある。たとえば、オスロ国立芸術大学に応募をする場合、VISA申請のために、60,610NOK*を先方大学の銀行口座に一時的に振り込まなければいけない。これは現地で長期的に生活することができる経済基盤が整っていることを証明するための重要なプロセスであるため、学生は事前に保証人と相談する必要がある。くわえて、渡航国によって物価に大きな差があることにも留意すること。
*2019年5月現在の情報。1NOK=12.6JPY 計算で約763,700円。後日全額返金されるが、一括で納めなければいけない。
- ⑧ 応募時点で、本学への学費を滞納していないこと。
- ⑨ 応募者が本学に登録している国籍が示す国/地域に立地している協定校への応募は、原則として認められない。たとえば、登録国籍がノルウェーの学生は、オスロ国立芸術大学へ応募することはできない。登

録国籍については、各自 CampusSquare で確認すること。なお、日本国籍を登録している場合は、国籍欄は空欄となっている。

- ⑩ (a) 応募時の年度の進級判定会議において留年が確定した者、もしくは (b) 派遣時の年度に休学をしている者は応募資格を喪失する。応募時の年度に休学をしている者については、①所属学科（専攻・コース）の指導教員から許可を得た上で、②他の応募者同様に本要項で指定する方法で応募書類を提出し、③指定された日時に選考面接を受け、④合格後は本学でのオリエンテーションに参加することを条件に応募を認める。

3. 単位認定

本学が適当と認めた留学中の成果に基づき、留学期間に本学での授業科目を履修したものとしてみなすことができる。その際、単位認定科目については原則として所属学科の進級必要要件科目に限る。留学先での成果を示すため、派遣先での成績証明書、制作物、留学体験レポート等を本学の所属学科研究室に提出する必要がある。

4. 応募について

「ステップ 1: オンライン応募登録」、「ステップ 2: 応募書類提出」の 2 段階の手続きを期間内に行うこと。

ステップ 1 オンライン応募登録

下記 URL より、応募登録フォームにアクセスし、各種必要情報を登録すること。

[EP2022D][B 選考]交換留学申請フォーム：

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSehIjMwEP_gociN1UNWb1I3A4wX6_EFkE1oQXN6E--yOnGxQ/viewform?usp=sf_link

入力情報：

1. 学籍番号
2. 学生氏名
3. 専攻
4. 学年
5. 在学区分（在学中 or 休学中）
6. 前年度の GPA（小数点第二位まで求め、四捨五入はしないこと）
7. 推薦書執筆を依頼する教員名（事前に必ず推薦書執筆のお願いをすること）
8. 留学を志望する協定校名（第一志望）
9. 留学を志望する協定校名（第二志望）
10. Google Classroom 用の個人メールアドレス（-----@stdt.tamabi.ac.jp）
11. サブメールアドレス（各種ファイルを開けるもの）
12. 携帯電話番号（携帯電話を持っていない場合は、「0」と入力すること）
13. 希望する面接形式（対面 or オンライン）

登録期間： 2021 年 11 月 12 日（金）00:00 から 2021 年 11 月 19 日（金）17:00 まで。

推薦書について

- ・推薦書は、自分が所属している学科（専攻・コース）の専任教員（教授、准教授、講師）に限る。
 - ・推薦書執筆を依頼する教員には、以下の5点を伝えること。
1. 学生より推薦教員が通知され次第、国際交流センターが該当教員に対し推薦書執筆依頼メールを送る。
 2. 国際交流センターからの推薦書執筆依頼メールに対し、返信をする形で推薦書（推薦文）を提出する。
 3. 推薦書は、WORD ファイル、Google ドキュメント、またはメール本文への直接打ち込みで提出する。
 4. 提出期限は、2021年11月30日（火）17:00 までとする。
 5. 推薦書執筆に関する質問がある場合は、直接国際交流センターに連絡する。

ステップ2 応募書類の提出

下記①～⑧の書類を、**A4 サイズで1つのPDFデータにまとめ、Google Classroom 上で提出すること**（各データを分割しての提出や、印刷物の提出は受け付けない）。なお、PDFデータにまとめる際は、以下の応募書類の順番を必ず守ること。不備がある場合は、応募を受け付けられない可能性があるので注意すること。なお、Google Classroom 上で配布される各種提出書類のフォーマットについては、必ずデータをコピー保存し、各自のファイルとして編集すること（**配布資料を開く→「ファイル」→「コピーを作成」→各自のドキュメントとして情報を入力する**）。

① 国外留学願

指定様式（スプレッドシート）を Google Classroom 上でダウンロード（コピーを作成）し、必要情報をすべて入力すること（フォーマットが崩れる可能性があるため、必ずスプレッドシート上で入力すること）。顔写真については、携帯電話等で撮影したデータを添付してもよいが、背景に何もなく、写りが鮮明なものにすること。なお、学生が記入すべき部分は青い背景色になっているが、情報入力後、PDF化する前に背景色が無い状態（白い状態）に戻してから提出すること。

② 志望理由書（研究計画書）日本語

指定用紙（Google ドキュメント）を Google Classroom 上でダウンロード（コピーを作成）し、すべての情報を入力すること（フォーマットが崩れる可能性があるため、必ず Google ドキュメント上で入力すること）。志望理由書（日本語版）には、次の要素を必ず盛り込み、**日本語**でまとめること（2枚を限度とする）。情報入力後、PDFデータに変換し提出すること。

1. 多摩美術大学交換留学への応募理由（なぜ、その協定校を選んだのか）。
2. これまで多摩美術大学で学んできたこと（制作・研究してきたこと）。
3. 交換留学で得る知識、技術、経験等を、帰国後どのように活かしていきたいか。

③ 志望理由書（研究計画書）英語

指定用紙（Google ドキュメント）を Google Classroom 上でダウンロード（コピーを作成）し、すべての情報を入力すること（フォーマットが崩れる可能性があるため、必ず Google ドキュメント上で入力すること）。志望理由書（英語版）には、次の要素を必ず盛り込み、**英語**でまとめること（2枚を限度とする）。情報入力後、PDFデータに変換し提出すること。

1. 多摩美術大学交換留学への応募理由（なぜ、その協定校を選んだのか）。
2. これまで多摩美術大学で学んできたこと（制作・研究してきたこと）。
3. 交換留学で得る知識、技術、経験等を、帰国後どのように活かしていきたいか。

※注意

- ・志望理由書（日本語版）で書いた内容に可能な限り近づけること。

- ・文法や単語のミスを極力減らすよう努めること。

④ 成績表 日本語

CampusSquare から昨年度の成績を PDF としてダウンロードできる。

CampusSquare → 「単位修得状況参照」 → 対象年度を選択（昨年度を選択する） → 「成績通知書出力」

⑤ 英語能力を証明する書類の写し

- ・過去2年以内に受験した試験（TOEIC／TOEFL iBT／IELTS Academic）の証明書以外は認められない。
- ・英語圏以外への留学希望者については、現地公用語能力を証明する書類も提出することが望ましい。
- ・ロイヤル・カレッジ・オブ・アート／ヘリット・リートフェルト・アカデミー／シンシナティ大学／ソウル大学校への応募者は、指定する英語スコアもしくはそれに近い点数の証明書を提出すること。
- ・紙媒体の語学力証明書しか手元にない場合は、スキャンして PDF データにすること。

⑥ 健康診断書

学内の自動発行機で発行したものをスキャンし、PDF データに変換して提出すること。

⑦ 保証人同意書

指定用紙（Google ドキュメント）を Google Classroom 上でダウンロード（コピーを作成）できるので、印刷し、保証人に直筆記入・捺印してもらうこと。その後、保証人同意書をスキャンし、PDF に変換して提出すること。保証人同意書は後日原本を提出してもらうため、各自保管しておくこと。

⑧ 作品資料

- ・面接時に持参するポートフォリオや作品から3点を選び、**1枚につき1作品、計3作品（PDF3枚）**を提出すること。
- 1作品につき、カラー画像を各2～4枚掲載すること。
- 作品のタイトル、作品の説明文（和文で5行程度）を各用紙に記載すること。
- 用紙3枚とも「学籍番号、学科・専攻、学年、氏名」を右下に記載すること。
- 芸術学科の学生で、理論系のプログラムに応募する者は、作品画像の代わりに論文等の概要を提出しても良い。その場合は、論文1点を1作品とみなす。

提出先：Google Classroom

クラス名：[EP2022D][B 選考]応募書類提出先

クラスコード：x4fbgtv

提出期限：2021年11月30日（火）17:00まで

※注意：

- ・ステップ1の登録が完了していない者については、応募書類を受け付けない。
- ・出願期間を過ぎた提出は一切認められない。
- ・容量は **4MB** 以内に収めること。

5. 書類審査（1次審査）について

応募者多数の場合は、応募書類による1次審査を行う。審査結果については、2021年12月15日（水）までに応募者本人に Email にて通知する。

6. 選考面接（2次審査）について

1次審査を通過した者について、選考面接（2次審査）を行う。その際、応募者は以下の注意事項を確認のうえ、ポートフォリオ、作品を持参すること。

- ポートフォリオの様式は自由。
- 各作品について、簡単な説明を書き記すこと（日本語・英語併記、もしくは日本語・現地語併記）。
- 映像作品の場合は、5分以内に編集し、選考面接時に自分のノートPCを持参して発表すること。
- 面接時間の都合上、映像を全て発表できない可能性があるため、発表方法は工夫すること。
- 芸術学科の学生で、理論系のプログラムに応募する者は、ポートフォリオの代わりに論文等を提出しても良い。その場合は、日本語版および英語版の論文をセットで提出すること（ともに概要必須）。

英語面接について

選考面接において、一部英語での面接を実施する。応募者は下記の項目について英語で説明・応答できるように準備すること。

- ・自己紹介。
- ・交換留学先大学を選んだ志望動機、またそこで何をしたいかの説明。
- ・自分の専攻分野を選んだ動機・理由。
- ・面接日に持参するポートフォリオ・作品のうち、代表作1点のコンセプト・背景説明。

※面接本番では原稿やメモを読み上げることはできない。

※上記以外のことを面接で聞くこともある。

選考面接（2次審査）日： 2021年12月23日（木）※予定

※時間・場所などの詳細は、書類審査（1次審査）の通過者において連絡する。

※国際交流センターより、オンライン面接を指定する可能性がある。

選考面接（2次審査）結果

2022年1月7日（金）までに電話またはEmailにて応募者全員に連絡する。提出物（出願書類、ポートフォリオ）、英語力、選考面接の結果を総合的に評価し、本学を代表する派遣交換留学生としてふさわしい者が選定される。

7. 協定校への出願書類提出（2次審査合格者）

2022年3月～4月（協定校により異なる）

8. 協定校での選考（3次[最終]審査）

2022年4月～6月（協定校により異なる）

9. 協定校からの選考結果通知

2022年5月～6月（協定校により異なる）

10. その他

- ① 教職課程を履修している者については、在学中に免許を取得することができなくなるので注意すること（資格課程科目は単位認定不可のため）。

- ② 学芸員課程を履修している者については、在学中に免許を取得することが難しくなるので注意すること（資格課程科目は単位認定不可のため）。
- ③ 派遣先での宿舎は、学生個人で探さなければならない。英語やその他現地語で派遣先の住宅担当部署や現地の不動産業者等と直接やりとりをする必要があることを留意すること。
- ④ 派遣先への入国に必要なビザ申請等の各種手続きは、学生個人で行う必要がある。都内にある現地国の大使館等に相談した上で、各自手続きを進める必要があることを留意すること。
- ⑤ 派遣学生は、渡航前に本学が指定する保険（学研災付帯海外留学保険）に加入しなければならない。正当な理由があり、本学が指定する保険に加入しない場合は、本学が指定する補償内容をカバーした十分な保証内容の保険に加入しなければならない。クレジットカードに付帯されている保険は不可。
- ⑥ 派遣先大学からの受入承諾書が発行された派遣交換留学生に対して、多摩美術大学交換留学生奨学金を給付する（参考：昨年度給付額 200,000 円）。
- ⑦ 派遣時に日本学生支援機構の奨学金を受けている学生は、学生課での手続きが必要となる。
- ⑧ 日本学生支援機構から第二種奨学金の貸与を受けていない派遣学生は、新たに日本学生支援機構から第二種奨学金（短期留学、貸与）の申し込みができる。希望者は学生課に問い合わせること。
- ⑨ 派遣学生は留学体験レポート（用紙は国際交流センターが配布する）を提出する必要がある。また、次年度に実施する留学体験報告会での発表義務を負う。
- ⑩ 天災、テロ、暴動、感染症、その他本学が現地渡航を危険と判断した場合には、交換留学を中止する可能性がある。その際には、多摩美術大学国際交流危機管理マニュアルに則り、本学より学生に対して各種指示を行う。派遣交換留学生は、その指示に従うことが義務付けられる。
- ⑪ 新型コロナウイルスの影響を考慮して、本要項の内容が一部変更となる可能性がある。

【問い合わせ先】 国際交流センター（八王子キャンパス 本部棟 2 階）
Tel: 042-679-5605 / Email: intl-ex@tamabi.ac.jp